

走行チェックシート

日付	2009年7月26日 (日)		時間	~	イベント	"Coca-Cola Zero" Suzuka 8hours World Endurance Championship Race	
天気	晴れ→雨		マシン	GSX-R1000 K9	ライダー	今野由寛 & 鈴木大五郎 & 新庄雅弘	
コース	名称	鈴鹿サーキット			気温	°C	
	コンディション	DRY → WET			気圧	hpa	
	路面温度	°C (計測時間)			湿度	%	
エンジン	スパークプラグ	NGK R0045Q-10		エンジンOIL	シェルアドバンス RMG-001 #40		
	ファイナルレシオ	16 x 42(2.625)					
トランスミッション	1st	B(35/16)	2.18	4th	B(31/21)	1.47	
	2nd	B(34/18)	1.88	5th	B(28/21)	1.33	
	3rd	B(36/22)	1.63	6th	C(32/25)	1.28	
フロント	パーツ名	SHOWA(760mm)		TEN	-7		
	スプリング	10.25	N/m	OIL	SR6 #5		
	自由長	mm		油面	120	mm	
	イニシャル	13	mm	残ストローク	mm		
	COMP	-14		突き出し	STDトップブリッジで7mm突き戻し mm		
リア	パーツ名	SHOWA(316.5mm)		TEN	-11		
	スプリング	121	N/m	残ストローク	mm		
	自由長	mm		リンク	STD		
	イニシャル	8.5	mm	リンクロッド	144(STD+2mm)	mm	
	COMP(HI)	+1回転(MIN+1回転)		車高	STD±5.5mm ピボット±0mm スイング長599mm		
	COMP(LO)	-8					
タイヤ	フロント			リア			
	銘柄	ダンロップ		銘柄	ダンロップ		
	サイズ	125/80R16.5		サイズ	200/70R420		
	エア圧	2.1		エア圧	1.8		
チェック	順位	47		ベストラップ	2'10.555		
	水温	77	°C	油温	135	°C	
	ガソリン	IN	ℓ	走行距離	km		
		OUT	-	ℓ	燃費	km/ℓ	

<コメント>

真夏の祭典鈴鹿8時間耐久ロードレースが始まりました。
 今年は第32回ということもありMOTOMAPのゼッケンも#32!!これは何か期待出来るような気がします!!
 前回の300kmに引き続きライダーは第一ライダーに今野君、第二ライダーに鈴木大五郎さん、そして今回は第三ライダーに新庄雅浩くんを起用し3人体制で戦うことになりました。
 新庄君は去年から全日本ST600クラスに参戦し、今年も継続して参戦する傍ら、カタルチームから世界耐久選手権にも出場しています。今回は天候が怪しく梅雨明けかどうかの微妙なところでした。
 しかし天気に関しては他のチームも条件は同じなので、淡々と走行していれば目標の順位は難しくありません。
 予選が始まり、今野君がタイムを上げてチームを引っ張っていきます。大五郎さんも走行ごとに自己ベストを更新していきます。
 新庄君は事前テストでは、エンジンの慣らしくらいしかマシンに乗る事が出来なかったため、マシンに慣れつつタイムアップしていきました。
 結局今野君が2' 10. 555で8番手を獲得。
 ここ数年TOP10トライアルに出場できていませんでしたが、今年はやりました!!総合8位でジャンプアップを目指します。
 今野君は以前スベシャルステージに出たことがありますが、大五郎さんは初めてです。
 しかし直前に雨が降り、ウェットパッチが残る路面でコンディションも良くなかった為、タイムを伸ばせず9番手でスタートすることになりました。
 天気もよく晴れて決勝スタート!!
 序盤は他チームの波乱もあり5位から7位を走行、このままいけばかなりいいレースになるはずですが。
 しかし波乱はうちのチームにもありました。交代まで残り2周で今野君が転倒!! どうやら周回遅れと絡んだようです。
 モニター上ではライダーに大きな怪我がなさそうでしたが、戻ってきてからが大変です。
 スプリントでもそうですが耐久でも転倒してしまうと順位は大きく下がります。
 修理をして大五郎さんの走行です。
 しかしここで雲行きが怪しくなってきました。西側からばらばらと雨粒が落ちてきました。
 上位連中もペースを落としている中、大五郎さんのペースがトップとほぼ同じです。
 結構攻めているな~と思った矢先、モニターに大五郎さんが!!完全なハイサイドでした。
 思いっきり転んで腰を打ったようで、すぐにマシンから離れていったので今年はここで終わりかなと思いましたが、帰ってきましたよ!
 大五郎さんが!!!
 またマシンを修復して今度は新庄雅弘の出番です。
 ウェットから徐々に乾いていく難しいコンディションの中走行しその後今野君に交代。
 ペースカーが入ったりしましたがその後はトラブルも無くチェッカー、47位でした。
 今野君、大五郎さん、新庄君お疲れ様でした。
 残念でしたが、気持ちを切り替えてすぐ次のSUGOです。
 今野君の得意なサーキットのひとつですので、是非いい結果を残したいです。
 今回も暑い中応援に来ていただいた皆様ありがとうございました。

レーシングサブライ
 畑中 健太郎